

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Nov.2013

11

No.637



Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

小さな心掛けが 大切な命を守る

昨年(2012年)の交通事故による死者数は4411人で、12年連続して減少傾向にあります。
しかし、依然として4000人を超える尊い命が交通事故によって奪われています。平均すると1日に12人、2時間に1人です。

皆さんは日常生活の中でどんな時に「交通事故」について考えますか？
悲惨な交通事故のニュースを見た時。交通ルールを無視した危険な運転を見た時。
そんな時、もし自分や家族が交通事故にあったらと想像して、「怖いな」と感じる
ことがあると思います。

皆さんは、通勤や買い物など、毎日の生活の中でその危険を回避するための習慣や
行動を実際にとっているでしょうか。
いつも通る道だから。近所までの外出だから。
そんな小さな油断や気の緩みが重大な交通事故につながってしまう恐れがあります。

シートベルトの着用や早めのライト点灯、
道路への飛び出しをしない、夜間は明るい服装を心掛ける。
そういった小さな心掛けで交通事故を避けることができます。

子どもやお年寄りを家から送り出す時、車に乗り込んでハンドルを握る時、
少し交通安全について考えてみてください。

交通ルールを守ることは、命を守ることです。

猪苗代町交通対策協議会



みんなの笑顔が一等賞！ 福島を、猪苗代を元気にした、ランナーたちの充実感あふれる笑顔。そのどれもがとびっきり輝いていました



1_ 沿道の声援を受けながらスタートするランナーたち 2_ 勇壮な演奏でランナーたちを鼓舞した、いなわしろ天鏡太鼓 3_ ハーフ女子Bで2年連続の6位入賞を果たした緑小教諭の金子瞳さん(左)。「教え子たちの応援が力になった」と話した 4_ 町食生活改善推進員会と町商工会女性部の振る舞った豚汁が大好評。温かい豚汁がランナーたちの冷え切った体を温めた 5_ ゴールしたランナーにタオルを配る体育協会加盟団体の皆さん。冷たい雨に打たれながらも「お疲れさまでした」と笑顔で声を掛ける 6_ 佐藤選手(左)と川内選手(右)はレース後のトークショーで走る秘訣やレースの感想、今後の抱負などを語った



まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Nov.2013
11
No.637

今月の表紙



【撮影日】 10月30日
【撮影場所】 四ツ谷地区

猪苗代保育所の児童が中央商店街などを練り歩き、火災予防を呼び掛けました。終点の保育所は間近。仲間たちが疲れを見せる中、後藤真宙くん(前列右)と小林歩睦くん(同左)は「わっしょい！わっしょい！」と元気な掛け声を響かせていました。

Contents — 【目次】

- 02 PICK UP
- 03 町交通対策協議会からのお知らせ
～小さな心掛けが大切な命を守る～
- 04 平成25年度上半期財政状況
- 06 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは／農業体験ツアーほか
- 12 いなわしろタウンページ
- 16 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

東日本大震災からの復興を応援する「猪苗代湖ハーフマラソン2013」は10月27日、カメリーナをスタート、ゴールで開催され、全国から集まったランナーたちが秋の猪苗代路を疾走しました。
今年は、昨年を約千人上回る2990人が参加。年齢・男女別のハーフマラソン10部門と男女10歳、中学男子5歳、同女子3歳、親子2歳の計15部門を繰り広げました。あいにくの雨模様となったものの、ランナーたちは沿道の声援を受けながら、猪苗代湖や磐梯山を望むコースを全力で駆け抜けました。
ハーフマラソンには、日本最速市民ランナーの川内優輝選手(埼玉県庁)と北京五輪男子マラソン代表の佐藤敦之選手(中国電力、会津高卒)がゲストランナーとして参加し、熱いレースを繰り広げました。

した。また、元プロビーチバレー選手の浅尾美和さんが親子部門の参加者らと一緒に走り、大会に華を添えました。
レース終了後には、川内、佐藤両選手によるトークショーを開催。川内選手は「沿道から来てくれてありがとう」などと温かい声援を受けた。福島の皆さんのおもてなしの心が伝わったレースだった。佐藤選手は「川内君のようなトップランナーが福島に来てくれてうれしい。子どもたちも着々と育っている。2020年に開かれる東京五輪には、ぜひ福島から選手が出てほしい」などと話しました。
過去最多のランナーが参加した今年の大会。悪天候の中、沿道では大勢の町民が声援を送り、大会を盛り上げました。ボランティアや吹奏楽、和太鼓の演奏などでも2000人を超える町民が参加し、おもてなしの心で大会を支えました。

Pick Up

今月のイベント

ランナーたちが復興を応援

猪苗代湖ハーフマラソン



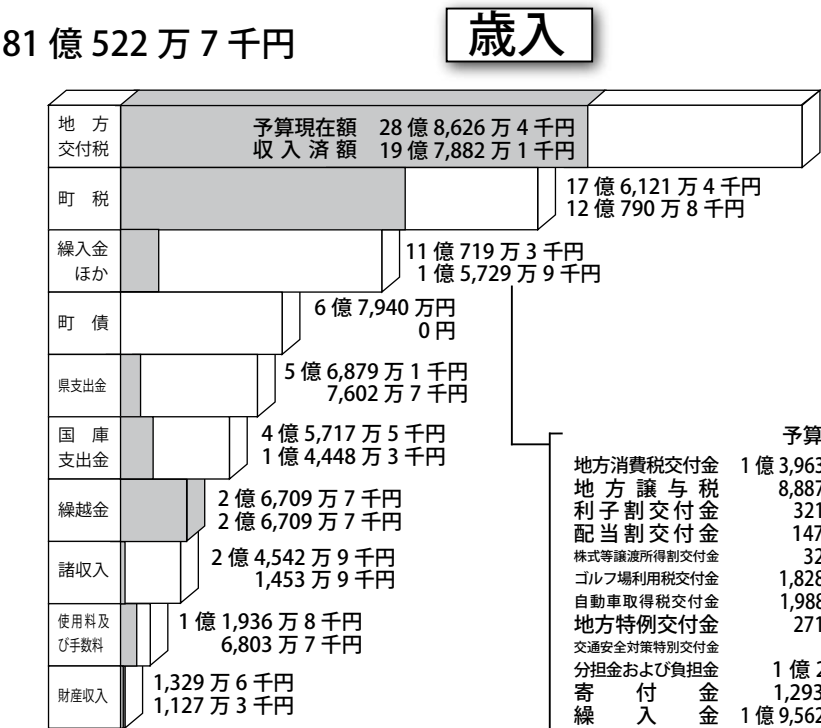
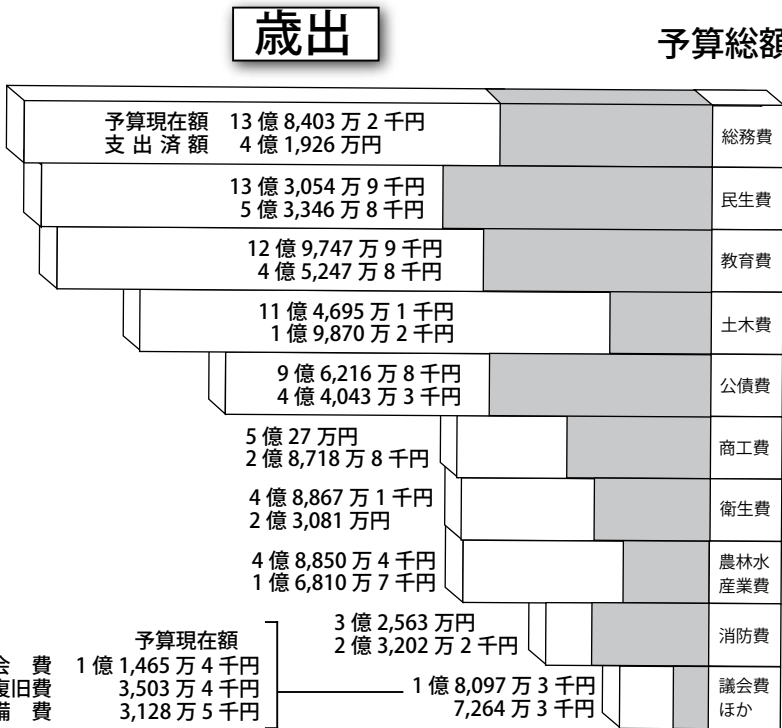
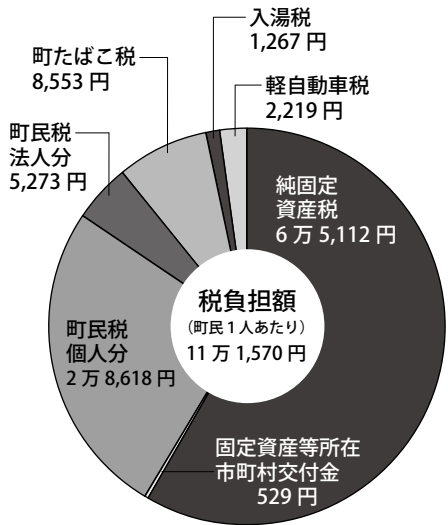


■平成 25 年度上半期財政状況

町のお金は このように使われました

一般会計

みなさんが納める税金



25年9月末までに使った、町のお金の状況をお知らせします。これは、地方自治法と町条例に基づき、毎年5月と11月の2回、町の財政状況を皆さんに公表しているものです。一般会計は、上半期中3回の補正をし、歳入歳出の予算現在額は81億522万7千円となりました。9月末までの予算現在額に対する収入割合は48・43%、支出割合は37・45%となっています。国民健康保険など11の特別会計は、上半期中、合計で2億969万6千円の補正をし、予算現在額は46億8510万3千円となりました。9月末までの予算現在額に対する収入割合は36・36%、支出割合は47・17%となっています。

基金の状況

(25年度末見込額)

- ▼財政調整基金 9億8840万3千円
- ▼減債基金 1億714万7千円
- ▼温泉センター建設基金 235万4千円
- ▼公共下水道整備基金 3137万9千円
- ▼ふるさと創生基金 2315万8千円
- ▼リゾート開発環境整備基金 824万2千円
- ▼ふるさと水と土保全基金 1067万5千円
- ▼地域福祉基金 2億223万7千円
- ▼そば大豆刈取機械整備基金 323万6千円
- ▼震災復興基金 1億1545万5千円
- ▼町ブランド・イメージ回復基金 3527万9千円
- ◎基金を運用しながら事業を行うもの
- ▼土地開発基金 1億9775万2千円

公営企業会計

水道事業会計予算収支状況 (消費税込)			
区分	収入	支出	差引
収益的	1億3,989万3千円	6,958万1千円	7,031万2千円
資本的	177万7千円	2,108万7千円	△1,931万円

※資本的収支の不足額1,931万円は内部留保資金から補てんしました。

病院事業会計予算収支状況 (消費税込)			
区分	収入	支出	差引
収益的	4,573万3千円	268万円	4,305万3千円
資本的	269万円	3,126万円	△2,857万円

※資本的収支の不足額は基金などから補てんしました。

特別会計予算執行状況 (公営企業会計を除く)			
会計区分	予算現在額	収入済額	支出済額
猪苗代地区財産区	1,052万2千円	115万円	767万円
翁島地区財産区	260万6千円	197万2千円	12万2千円
長瀬地区財産区	1,374万1千円	288万9千円	222万7千円
吾妻地区財産区	848万3千円	248万2千円	207万1千円
国民健康保険	18億8,690万6千円	7億5,915万3千円	8億9,211万6千円
簡易水道事業	1億6,477万6千円	3,448万7千円	4,505万7千円
公共下水道事業	6億3,806万7千円	1億7,216万2千円	3億3,157万1千円
特定環境保全下水道事業	1億8,995万1千円	5,674万5千円	9,781万9千円
農業集落排水事業	2億1,254万1千円	2,458万2千円	8,645万4千円
介護保険	13億9,701万4千円	5億9,867万3千円	7億34万3千円
後期高齢者医療	1億6,049万6千円	4,927万8千円	5,160万4千円
計	46億8,510万3千円	17億357万3千円	22億1,015万1千円

一般会計は、当初予算82億3200万円に対し9月末までに3回の補正を行い、1億2677万3千円を減額、総額では81億522万7千円となりました。補正予算で計上した事業の中で特に大きなものは、道の駅整備事業費で、その内容は、運営法人への出資金、土木実施設設計委託費用などで、総額で8239万8千円となっています。また、城南上野線舗装新設工事や諏訪前線舗装新設工事などの町道新設改良事業、改善センター内トイレの洋式化改修工事、7月の豪雨災害による農地・農業施設や林道、亀ヶ城公園などの災害復旧費用なども予算化しました。原発事故の対策経費としては、猪苗代中および吾妻中の除染費用、牧草・稲わらなどの農業系汚染廃棄物処理業務委託費用を計上しました。なお、これらの事業に必要な財源については、農林業系汚染廃棄物処理加速化事業補助金をはじめとした国県補助金、前年度からの繰越金、財政調整基金からの繰り入れなどによりまかっています。

企画財務課財務係

☎(62)2112



湖岸に打ち上げられた水草を熱心に回収する生徒ら

水質日本一の復活を願って

東中と猪苗代L Cが猪苗代湖の水草回収

東中と猪苗代ライオンズクラブは10月11日、猪苗代湖の天神浜で漂着水草の回収作業を実施しました。同校の全校生徒と同クラブ会員合わせて約110人が参加。熊手などを使って湖岸に打ち上げられた水草を回収し、湖の環境保全に努めました。同校2年の柴田菜摘さんは「大変だけど、地域の人と交流できるし、友達と協力しながら作業できて楽しい。このような活動を続けていって、水質日本一に戻りたい」と話しました。

ソチ冬季五輪への思いを語る

モーグルの遠藤、星野両選手がトークショー

「モーグルトップアスリートふれあいトークショー」は9月14日、ホテルリステル猪苗代で開かれました。バンクーバー冬季五輪男子モーグルで7位入賞の遠藤尚選手（忍建設、猪苗代高卒）、チームリステル所属の星野純子選手が、来年2月に開かれるソチ冬季五輪への思いなどを語りました。遠藤選手は「五輪から帰ってくる時には首に金メダルがかかっているようにしたい」、星野選手は「頑張ってソチの舞台に立ちたい」などと話しました。



ソチ五輪への思いなどを語った遠藤選手（右）と星野選手

元日本代表とサッカーを楽しむ

吾妻小でキリンスマイルフィールド

東日本大震災復興支援のサッカー教室「JFA・キリンスマイルフィールド」は10月4日、吾妻小で開かれ、全校児童約70人がサッカーに親しみました。元日本代表の秋田豊さんらが訪れ、ミニゲームなどを通して児童らにサッカーの楽しさを伝えました。スポ少のサッカー部に所属している高橋瑠依さん（6年）は「プロ選手と一緒にプレーできて、とても楽しかった。秋田選手はすごく強くて、全然ボールを奪えなかった」と笑顔で話しました。



秋田さん（中央）とミニゲームを楽しむ児童ら

小中学生が心に響く演奏を披露

学びいなで野口博士顕彰記念音楽祭

第30回野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月4日、学びいなで開かれ、児童・生徒たちが心に響くハーモニーを奏でました。町内の6小学校の児童と3中学校の生徒がこの日のために練習してきた合奏や合唱などを披露。練習の成果を発揮し、会場を訪れた保護者らを魅了しました。音楽鑑賞のコーナーでは、「アルプス音楽団」による演奏が披露され、参加した児童・生徒たちが熱心に聞き入りました。



息の合った演奏を披露する児童たち

町の代表が健闘を誓う

ふくしま駅伝町選手団が結団式



写真上 結団式に臨んだ選手たち。皆さんは、学業や仕事をしながら、少しでもタイムを縮めようと夜間や休日などに練習に励んでいます。大会当日は、町の名譽を懸けて走る選手たちに熱い声援をよろしくお願いします

写真下 「サポートしてくれる皆さんのため、最後まで全力で走り抜きます」と力強く宣誓した五十嵐主将



第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月17日、白河市の総合運動公園陸上競技場をスタート、福島市の県庁前をゴールとする16区間、全長96.5*で開催されます。

大会に出場する町選手団の結団式は10月19日、学びいなで行われ、選手、監督、コーチや来賓など約30人が出席しました。

式では、前後公町長が「コンディションを整え、万全の体制で大会に臨み、好成績を残してください」とあいさつ。鈴木武喜町議会議長が「町民一丸となって応援するので頑張ってください」と祝辞を述べました。

五十嵐幸夫監督は「昨年まで町の部において上位をキープしている。大会までの残り1カ月、練習を重ねて一人一人がタイムを縮め、町の名譽を懸けて最高の順位を目指す」とあいさつ。引き続き選手団の五十嵐史朗主将が「サポートしてくれる町民の皆さんのために、全力で走り抜きます」と宣誓しました。

富岡高・猪苗代中バド部を激励

J Aあいづ肉牛部会が会津牛を贈呈

J Aあいづ肉牛部会は9月25日、富岡高と猪苗代中バドミントン部が合宿生活をしている、あるばいんロッジに牛肉10キロを寄贈しました。原発事故の影響により本町に拠点を移して活動を続け、全国大会や国際大会で活躍する部員を激励しようと贈られたものです。贈呈には鈴木寿典部会長と肥育牛農家の遠藤好夫さんが訪れました。贈呈された最高級A5ランクの牛肉は、素材を生かすため、シンプルに焼いて生徒らに提供されたそうです。



牛肉を贈呈する鈴木部会長（左から2人目）と遠藤さん（左）

バレーボールで福島を元気に

カメリーナでバレーボールエイドが開かれる

東日本復興を応援する「バレーボールエイド2013 in 猪苗代」は10月20、21の両日、カメリーナで開かれ、V・プレミアリーグ女子のパイオニアレッドウィングスとNECレッドロケッツの選手らがエキシビションマッチや小中学生対象のバレーボール教室などを行いました。カメリーナスポーツクラブに所属する小学生や町内3中学校のバレーボール部員らも参加し、国内トップ選手からレシーブ、トス、サーブなどの熱心な指導を受けました。



国内トップ選手から指導を受ける小学生



熱戦が繰り広げられた大会の様子

地域で楽しむスポーツの秋

町民球技大会で猪苗代一が決定

町民球技大会中央大会のバレーボールは9月8日、カメリーナで開催されました。雨天のため延期となったソフトボールは9月15日に実施されましたが、この日も途中から悪天候に見舞われ、決勝戦が延期となりました。決勝戦は10月27日に行われ、ようやく猪苗代一が決定しました。結果は次のとおりです。
【ソフトボール】優勝：小田チーム、準優勝：四ツ谷チーム
【バレーボール】優勝：扇田チーム、準優勝：樋ノ口チーム

湖の水質改善願い汗を流す

猪苗代湖北岸でヨシ刈りとごみ撤去作業

県民ボランティアによるヨシ刈りおよびごみ撤去作業は10月23日、猪苗代湖北岸で行われました。町、県、環境省などの主催で、県内の42団体から約250人が参加。湖北岸のヨシ群落は、湖内に流れ込んだ汚濁物質を吸収し、水質浄化に役立つ一方で、大量の漂着ごみが堆積するなど、水質悪化の一因となることから、毎年実施しているものです。参加者は背丈の2倍ほどもあるヨシを刈り取り、周辺のごみを熱心に拾い集めました。



背丈の2倍ほどもあるヨシを刈り取り、運搬する参加者

教育行政発展の功績に感謝

前教育委員の穴澤周一さんに感謝状

町教育委員を1期4年間務め、このたび退任された穴澤周一さんに10月1日、町の感謝状が贈られました。
贈呈式は同日、町役場で行われ、前後町長が穴澤さんに手渡しました。前後町長は「長年にわたり教育行政の振興にご尽力いただきありがとうございます。これからも町政伸展のためにご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。



前後町長から感謝状を受ける穴澤さん(右)

火山の仕組みに興味津々

学びいなで日本火山学会の秋季大会

日本火山学会の秋季大会は9月28日から10月1日までの4日間、学びいなで開催されました。初日は子ども向け公開講座があり、小中学生約20人が磐梯山などの火山の仕組みを学びました。講座では磐梯山の模型を作り、1888年の噴火で起こった岩なだれを再現したり、溶かしたべっこうあめを模型の山頂から流し、溶岩が山肌を下る様子を観察したりしました。この日はジオパークシンポジウムと火山防災シンポジウムも行われました。



溶かしたあめが流れる様子を観察する子どもたち



前後町長と握手を交わし、活躍を誓う渡部さん(右)

渡部剛弘さんW杯本格参戦

町長に報告 活躍誓う

ノルディックスキー複合のW杯に今季から初めて本格参戦する渡部剛弘さん(明治大学、猪苗代高卒)は11月1日、町役場を訪れ、前後公町長に出場を報告しました。渡部さんは30日にフィンランドで開かれる第1戦から12月22日にドイツで開かれる第8戦までの第1ピリオドに参戦を予定しています。渡部さんは「町の支えのおかげで今の自分がある。町のためにも頑張ります」と話してくれました。渡部孝美県スキー連盟会長が同席しました。

雨にも負けずはつらつプレー

亀ヶ城公園でグラウンド・ゴルフの県大会

第12回福島民友新聞社杯県グラウンド・ゴルフ大会は10月12日、亀ヶ城公園で開かれ、選手たちが熱戦を繰り広げました。県内8支部から512人が出場、猪苗代町宝の山グラウンド・ゴルフ協会からは約40人が参加しました。開会式で同協会の田上晃さんが選手宣誓し競技を開始。途中、激しい雨が降るなど、悪天候に見舞われましたが、選手たちは「おーうまい」「あー惜しい」などと声を掛け合いながら、はつらつとプレーしていました。



熱戦を繰り広げる選手たち

超絶の音色に酔いしれる

野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭

クラシックコンサート「野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭」は10月12日から14日までの3日間、町内4会場で開催され、町内外から訪れた聴衆が美しい音色に酔いしれました。世界で活躍する演奏家11組が猪苗代に集結し、学びいな、野口英世至誠館、アンジュー猪苗代とホテルリステル猪苗代で延べ20ステージ以上を披露。多彩なステージを繰り広げ、会場に詰め掛けた聴衆を魅了しました。



聴衆の目の前で演奏するアーティストたち

町運動公園に案内板を設置

猪苗代ライオンズクラブに感謝状

猪苗代ライオンズクラブはこのほど、町運動公園の案内看板を寄贈しました。10月16日にホテルリステル猪苗代で開かれた同クラブチャーターナイトの席上で贈呈式が行われ、同クラブの牛木勤会長が前後町長に目録を手渡しました。前後町長は牛木会長に感謝状を手渡し、「看板の設置により運動公園の利便性向上が図られ、より多くの皆さんに利用してもらえるものと期待しています」と感謝の言葉を述べました。



前後町長に目録を手渡す牛木会長(左)

楽しみながらロボットの役割学ぶ



ロボットを操作する1年生。パソコンを使って前後左右の歩行、ボールを蹴る、腕立て伏せなどの動作をさせました。

長瀬小ロボット体験学習

長瀬小では9月24日、いわき明星大の高橋義孝准教授を講師に招き、ロボット体験授業が開かれました。

同校のエネルギー環境教育・科学教育の一環で、ちゅうでん教育振興財団の「第13回ちゅうでん教育振興助成」を受けて開催されたものです。

1・2年生、3・4年生、5・6年生の3回に分けて授業を実施。児童たちは、ロボットが人間社会にどのように役立っているかの説明を聞いた後、パソコンを使って二足歩行ロボットを操作し、ロボットの有用性について学びました。

町の現状、正しく知って

農青連が農業体験ツアー開催



▶参加者の中で米の全袋検査が行われていることを知っていた人は、一人もいませんでした



参加者の声



板橋恵津子さん、亮くん(埼玉県)

初めて体験することばかりで、とても楽しかったです。また、農産物は放射能の検査をしっかりとやっていて、安心して安全だということがよくわかりました。私が農業体験で福島に行くと言ったら「えー」と驚く人もいました。首都圏のほとんどの人が福島の現状をよく知らないと思います。フェイスブックをやっているの、今回のことを載せようと思います。(恵津子さん)



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

名前の「彩」には、「彩りのある、幸せな人生を送ってほしい」というパパとママの願いが込められています。

渡部 紗彩 ちゃん

平成25年6月生まれ

～蟹沢・長浜
一登さん・未来さん夫婦の長女

最近、寝返りの練習に夢中の紗彩ちゃん。この前は、あと少しのところまで元に戻ってしまい、泣きながら何度も何度も挑戦していたのだとか。ママの未来さんは「一人で頑張る姿を見て成長を感じ、とてもうれしかった」と顔をほころばせます。体を使った遊びが大好きで、中でもパパの高い高いがお気に入り。他の人では味わえない高低差に、一段と大きな声で喜びます。パパの一登さんは、そんな紗彩ちゃんがかわいくて仕方がない様子。初めて話す言葉が「おとうさん」であってほしいと、「おとう」「おとう」と一生懸命教えているそうです。「努力が実るかどうか、今からワクワクしています」と未来さんは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

町民親善ゴルフ大会実行委員会

町民親善ゴルフ大会実行委員会は10月4日、町に災害復興支援協力金として10万円を寄付しました。

大会は9月8、9の両日、郡山市の郡山熱海カントリークラブで開催され、2日間合わせて163人が参加。寄付金は、参加者から募った9万6110円に実行委員会の補助を合わせたものです。



前後町長に寄付金を手渡す渡部一男実行委員長(右)

Ha-DU 松本喜陽さん(大阪市)、ライト・イヤー 松海敦子さん(姫路市)、白井さと子さん(福岡市)、太田博司さん(福岡市)

ホテルマウント磐梯は9月30日、町に災害復興支援協力金として14万4319円を届けました。

研修旅行で本町などを訪れ、同ホテルに宿泊した大阪市、姫路市と福岡市の4つの美容室から寄託を受けたもので、同ホテル女将の一ノ瀬恵子さんらが町役場を訪れ、前後公町長に手渡しました。



前後町長に寄付金を手渡す一ノ瀬さん(中央)

上記のほか、社会福祉事業協力金として

猪苗代歌謡教室(磯川猪四郎会長)から50,000円、佐藤マツさん(中ノ沢)から10,000円をご寄付いただきました。

ご寄付ありがとうございます

募集

放課後児童クラブの
指導員を募集します

放課後児童クラブは、小学校の授業終了後や土曜日、長期休業日などに、仕事などで家に保護者のいない児童が、楽しく安全に過ごせる場として、町が設置しています。

指導員の仕事内容は、児童の健康と安全の管理、生活の指導や家庭との連絡などです。

元氣いっぱいの子どもたちと、楽しい時間を過ごしませんか。

▼募集人数 若干名

▼資格要件

心身ともに健康で、平成25年12月1日現在で65歳以下の次のいずれかに該当する成人
①教諭、保育士の資格を持っている人



インフルエンザ予防接種について

◆町インフルエンザ予防接種の概要

対象者	猪苗代町に住んでいる人(住民登録をしている人)で助成区分に該当する人	
実施期間	25年11月1日から26年1月31日まで	
接種回数	13歳未満…2回 (1回目接種時年齢)	※1歳未満の子どもについては、予防接種により免疫をつけることが難しいため、インフルエンザワクチン接種は推奨されませんが、有益性とリスクを十分に考慮した上で接種を受けることは差し支えありません
	13歳以上…1回	※医師の判断により2回接種になることがあります
接種に必要なもの	①住所・氏名・年齢を確認できるもの(免許証、健康保険証や母子健康手帳など) ②自己負担金 ③インフルエンザワクチン助成事業対象者証明書(生活保護者)	

11月から、町内の医療機関でインフルエンザの予防接種が始まりました。インフルエンザワクチンを接種することで、合併症や死亡など症状の悪化を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。

◆助成対象者と助成限度額

助成対象者の区分		1 回目			2 回目		
		接種費用	助成限度額	自己負担額	接種費用	助成限度額	自己負担額
一般	1 歳以上の幼児、小学生 13 歳未満の中学生	病院 単価による	2,000 円	病院単価と 町助成の差額	病院単価 による	2,000 円	病院単価と 町助成の差額
	13 歳以上の中学生 高校生等※		全額	0 円	1 歳～13 歳未満(1 回目接種時)の場合 2 回目接種も全額助成		
	妊 婦						
	生活保護者 (1 歳～高校生等と妊婦)						
高 齢 者	○ 65 歳以上 ○ 60 歳以上 65 歳未満の心臓・腎臓・ 呼吸機能障害またはヒト免疫不全 症による身体障害者 1 級の人	4,000 円	2,000 円	2,000 円			
	生活保護者	4,000 円	4,000 円	0 円			
	施設入居者	2,000 円	1,000 円	1,000 円			
	生活保護者で施設入居者	2,000 円	2,000 円	0 円			

※「高校生等」とは「18歳の誕生日以後、最初の3月31日を迎えるまでの者」とします

◆町内の接種場所

医療機関名	電話番号
浅見クリニック	63-2200
小川医院	62-2132
かねこ内外科クリニック	72-0660
町立猪苗代病院(高齢者のみ)	62-2350
マリアクリニック	66-2700
矢吹医院	62-2169

※町内老人保健施設等(いなわしろホーム、ケアテル猪苗代、咲楽の里、多生苑)で接種できる人は、施設入居者に限ります。

◆町外医療機関・施設で接種を受ける場合

- ①高齢者に該当する人は、県広域予防接種を実施している医療機関・施設であれば自己負担額だけで接種ができます。
- ②1歳から18歳までの子どもと妊婦で、町外の医療機関での接種を希望する人は、償還払いになります。

◆償還払いについて

上記の助成対象者に該当する人で、接種料金を実費で支払った人は、接種料金の全額または一部が戻ります。下記の書類を持参の上、町役場保健福祉課窓口で手続きをしてください。

○持参書類

領収書・接種済証・銀行またはJ Aの通帳・印鑑
(生活保護者は「インフルエンザワクチン接種助成事業対象者証明書」が必要になります)

◆接種にあたっての注意事項

- ①ワクチンを準備する都合上、事前に医療機関などに電話で確認してください。
- ②当日の体調や持病により、予防接種を受けられない場合があります。医師の判断に従ってください。

●問い合わせ先 保健福祉課 健康づくり係 ☎(62)2115

②児童健全育成に熱意のある人
▼勤務条件

〈開設日・時間〉

①月曜から金曜までの平日
午後1時～午後6時15分

②土曜日・学校長期休業日・運動会などによる学校振替休日
午前8時～午後6時15分

〈休日〉日曜・祝日
〈勤務時間〉2交代制

①平日

【早番】午後1時～午後5時15分
【遅番】午後2時～午後6時15分

②土曜日など

【早番】午前8時～午後4時45分
【遅番】午前9時30分～午後6時15分

※勤務時間は変更することがあります。

▼勤務場所 次の場所のいずれかになります。

- ・猪苗代児童クラブ(猪苗代小学校敷地内)
- ・千里児童クラブ(千里地区コミュニティセンター)
- ・吾妻児童クラブ(吾妻小学校内いこいのスペース)
- ・緑児童クラブ(月輪地区コミュニティセンター)
- ・長瀬児童クラブ(旧長瀬連絡所)
- ・翁島児童クラブ(翁島地区コミュニティセンター)

▼応募手続き

町指定の履歴書に写真貼り付

けの上、11月22日(金)まで保健福祉課に提出してください。履歴書は保健福祉課に備え付けてあります。

※履歴書提出後、面接があります。

▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

お知らせ

特別児童扶養手当

障がいのある子どものために

この手当は、身体・精神に中度または重度の障がいがある20歳未満の児童を監護・養育している人に支給されます。

【次のような場合は、手当は支給されません】

- ①手当を受けようとする人、対象児童の住所が日本にない場合
- ②児童が肢体不自由児施設・知的障害児施設などに入所している場合
- ③児童が障がい理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合

▼手当を受ける手続き

次の書類を添えて役場で手続きをしてください。

①認定請求書(役場で配布)

②請求者、対象児童の戸籍謄本または抄本および世帯全員の住民票

③所定の診断書(療育手帳「A」および身体障害者手帳「1・2・3級」の場合は、その写しで診断書を省略できる場合があります)

④通帳の写し

⑤その他必要な書類

▼手当の支払い

認定されると、請求した月の翌月分から手当が支給されます。支給は年に3回で、1回につき4カ月分の手当が支払われます。

▼手当の月額

・1級 50,050円
・2級 33,330円

▼支給制限

受給資格者およびその扶養義務者などの所得が限度額以上ある場合は、その年度(8月から翌年7月)は手当の支給が停止されます。

▼その他

障がいの種類や程度、所得制限限度額など手続きに関する詳細については、左記まで問い合わせてください。

▼問い合わせ先

県児童家庭課
☎024(521)7176
保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

お知らせ

都市計画マスタープラン
変更原案の縦覧と公聴会

県では、猪苗代都市計画区域マスタープランを変更するため、変更原案の縦覧を行うとともに、公聴会を開催します。

都市計画区域マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針のことで、県土の将来像やまちづくりの方向性を示すものです。

▼計画案の縦覧

○日時 11月1日(金)～15日(金) 午前8時30分～午後5時(平日のみ)

○場所 県庁都市計画課(西庁舎4階)、県喜多方建設事務所企画調査課(喜多方合同庁舎2階)または町建設課(役場2階)

○公述の申出

計画案に意見のある人は、公聴会に出席して意見を述べることでできます(猪苗代都市計画区域内の住民に限ります)。

希望する人は、11月15日(金)までに、住所、氏名、意見を述べようとする理由、意見の要旨を縦覧場所に備え付けてある所定の用紙に記載し、申し出てください。

▼公聴会

○日時 11月26日(火) 午後6時30分

○場所 町役場3階 正庁

▼問い合わせ先

県土木部都市計画課

☎024(521)7507

県喜多方建設事務所企画調査課

☎0241(24)5707

町建設課都市整備係

☎(62)2118

成人式のご案内



平成26年の成人式を左記のとおり開催します。該当する人はお早目に手続きをお済ませください。

▼日時 1月12日(日)

午後2時～午後3時頃

▼会場 学びいな

▼対象 平成5年4月2日～翌年4月1日に生まれた人のうち、

①町に住居登録している人

②町立中学校を卒業した人

※①と②以外の人で出席を希望する人は、ご相談ください。

▼申し込み方法

9月末日現在で住民登録して

相談

相談ごと・悩みごと
気軽に相談ください

〈行政相談会〉

本町を担当する行政相談委員が役所(国、県、市町村)や特殊法人(NTTなど)の仕事に関する相談に応じ、その解決のお手伝いをします。

相談は無料で、秘密は厳守されますので、気軽に相談してください。

▼行政相談委員



宮澤重正さん
(下館)
☎(66)3995



佐藤明さん
(会津若松市)
☎(29)6633

▼開催日時 11月20日(水)

午後1時～午後3時

▼場所 町役場3階 日本間

毎週火曜日、午後7時まで
窓口業務の時間を延長しています

町では、町民の皆さんの利便性向上を図るため、週に1回、住民票発行などの窓口業務の時間を延長しています。延長している業務の内容、延長時間などについては、次のとおりです。

●延長窓口業務の内容

- ・住民票、印鑑証明、戸籍の証明書発行
- ・戸籍届、転入・転出届出
- ・資産証明、納税証明(車検用含む)、所得証明、所得課税証明、課税証明、所在証明の発行 など

●実施日および実施時間

毎週火曜日
午後7時まで

●問い合わせ先

総務課行政管理係
☎(62)2111

住民税申告者・所得税白色申告者の
決算説明会を開催します

事業所得等があるすべての住民税申告者・所得税の白色申告者について、平成26年1月から帳簿の記帳および保存が義務付けされます。

町では、税務署と共同で、記帳と帳簿書類の保存制度の概要や平成25年分の確定申告に当たっての決算の仕方などを説明する「決算説明会」を実施します。

●対象 事業所得(農業所得を含む)、不動産所得または山林所得がある人

●日時 12月6日(金) 午前10時～午前11時30分

●場所 町役場3階 正庁

【所得税に関する問い合わせ】

会津若松税務署 ☎(27)4311

【住民税に関する問い合わせ】

税務課 賦課係 ☎(62)2113

※記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容については、会津若松税務署に問い合わせてください。

町の将来を決定する場
議会を傍聴しませんか

町議会の本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴す

いる人には、往復はがきをお送りしましたので、出席の可否を記入の上、ご返信ください。

住民登録をしていない人には、往復はがきをお送りしませんので、出席を希望する場合のみ、電話などでお申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ先

生涯学習課 生涯学習係

☎(72)0180

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

〈人権行政合同相談会〉

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、「人権デー」の12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、この期間を中心に各地で人権擁護委員が人権相談所を開設するなど積極的な啓発活動が行われます。

本町では、人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。相談は無料で秘密は固く守られますので、困りごとや悩みごとなど、気軽に相談してください。

▼開催日時 12月5日(木)

午前10時～午後3時

▼場所 町役場3階 日本間

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

掲示板

告示

・第96号「地縁による団体の告示事項変更届出(代表者変更)」
(総務課行政管理係)

・第97号「国民健康保険被保険者証無効告示」
(町民生活課国保年金係)

・第98号「平成25年度固定資産税督促状の公示送達について」
(税務課収納係)

・第99号「担保権設定等財産の差押通知書の公示送達について」
(税務課収納係)

・第100号「指名競争入札の方法により工事又は製造の請負、物品の買入れその他の契約を締結しようとする場合における当該入札に参加する者に必要な資格及びその審査に必要な申請の時期並びに当該申請に必要な書類の指定の一部改正」
(企画財務課財務係)

・第101号「指定給水工事業業者指定について」
(上下水道課水道施設係)

公告

・第37号「農用地利用集積計画の公告について(9月)」
(農業委員会事務局農地係)

・第38号「平成25年度公共工事発注予定情報の公表について」
(企画財務課財務係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

お知らせ

火山砂防フォーラムが延期になりました

台風の影響により延期となった火山砂防フォーラムを下記のとおり開催します。一般住民の方は参加費無料、申し込み不要です。

●目的

多くの犠牲者を出した 1888 年の磐梯山噴火から 1 世紀以上が経過した今、災害経験の伝承と警戒意識の醸成が火山防災上の課題といえます。フォーラムでは、これらの課題について地域の皆さんと共に考え、これからの対策のあり方について意見交換を行います。

●日時 11 月 25 日(月)

午後 1 時～午後 5 時 30 分

●場所 裏磐梯ロイヤルホテル

●内容

・研究発表：地域からの提言「火山噴火に目を向けてもらうために」
・パネルディスカッション「地域一体で火山噴火対策を推進するために」ほか

■ 2013 火山砂防フォーラム事務局
(北塩原村役場住民課内 火山砂防フォーラム係) ☎ 0241 (23) 3113

自賠責保険未加入での自動車運行は犯罪です

自賠責保険・共済は、万が一、自動車事故を起こした場合の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務付けられています(自動車損害

賠償保障法)。自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですのでご注意ください。

四輪車はもちろんですが、特に車検制度のない 250cc 以下のバイク(原動機付自転車・軽二輪自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。

自賠責制度の詳しい内容は、インターネット(<http://www.jibai.jp>)でご覧になれます。

■国土交通省東北運輸局

福島運輸支局 ☎ 024 (546) 0343

社長！労働保険の加入手続きはお済みですか

11 月は「労働保険適用促進強化月間」です。

正社員、パート、アルバイトなどの雇用形態に関わらず、一人でも労働者を雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。

手続きしていない事業主は、速やかに下記または最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所(ハローワーク)に相談してください。

■福島労働局総務部労働保険徴収室
☎ 024 (536) 4607

消費者

お店選びは信頼できる S マーク登録店で

11 月は、S マーク標準営業約款の普及登録促進月間です。

S マークは、厚生労働大臣認可の標準約款制度に従って営業しているお店です。

この S マークを店頭に表示しているお店なら安全、清潔、安心が保証され、皆さんの信頼できるお店選びの大きな目安となります。また、万一の場合、事故賠償基準に基づいた補償も受けられます。



理・美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店のお店選びは S マーク登録店で

■福島県生活衛生営業指導センター
☎ 024 (525) 4085

相談

女性の人権を守ります 一人で悩まずに相談を

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、11 月 18 日から 24 日までの 1 週間を全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど、女性をめぐるさまざまな人権問題の相談を受け付けます。

人権擁護委員および法務局職員が相談に応じます。相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

●電話番号 ☎ 0570 (070) 810
(全国共通ナビダイヤル)

●開催時間

午前 8 時 30 分～午後 7 時(ただし、23 日(土)、24 日(日)は午前 10 時～午後 5 時)
※強化週間以外の日(土・日・祝日を除く)も、午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分の間は相談に応じています。



一人で悩まず、相談してください

■福島県方法務局人権擁護課
☎ 024 (534) 1994

住生活総合調査にご協力ください

国土交通省および福島県では、市町村の協力の下に、各地で「平成 25 年住生活総合調査」を行います。

この調査は、住生活基本法に基づく住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要となる基礎資料を得るために、居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度などを総合的に調査するもので、5 年ごとに実施しています。

今回は、10 月に実施された総務省の「住宅・土地統計調査」に回答いただいた世帯の中から一部を抽出し、全国で約 9 万 2 千世帯を対象に行いますが、本県では、一定の抽出方法により無作為抽出した約 4500 世帯に調査をお願いいたします。

11 月 21 日から 12 月 10 日までの間、統計調査員証を持った調査員が、対象となった世帯を訪問します。調査をお願いする皆さんには、重ねてお手数をお掛けしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【調査の概要】

●目的

住生活総合調査は、住生活基本法に基づく住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要となる基礎資料を得るために、居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度などを総合的に調査するものです。

●期日

調査は、平成 25 年 12 月 1 日現在により行います。

●対象

調査は、「平成 25 年住宅・土地統計調査」の対象となる世帯から抽出した世帯について行います。リンケージ(かけ合わせ)集計を行うことから、住宅・土地統計調査の回答世帯を対象とします。

●調査の機関など

国土交通省が主管し、福島県と猪苗代町の協力の下に実施します。

●調査の方法

調査は、統計調査員が世帯を訪問し、調査票を配布・回収する方法により行います。

●主な調査項目

1. 現在お住まいの住宅およびその周りの環境の評価について
2. 最近の居住状況の変化について
3. 住宅の住み替え・改善の意向について

●結果の公表

調査の結果は、全国、地方ブロック別と市部郡部別にまとめられ、公表されます。これらの結果は、インターネットで閲覧できます。

【問い合わせ先】

県土木部建築総室 建築住宅課 ☎ 024 (521) 7520
建設課 都市整備係 ☎ (62) 2118



皆様のご意見をお寄せください

町では、町民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、町民の皆さんから町政に対するご提案などをお寄せいただく「ご意見箱」を設置しています。お寄せいただいたご提案などは、個人情報を除いて広報紙で回答します。よりよいまちづくりのため、皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

●設置場所 役場庁舎、カメリーナ、学びいな

●回答方法 「広報猪苗代」で回答します。

●記載について

- ・記名、無記名は問いません。
- ・ご意見箱に用紙を備え付けてありますので、ご利用ください。
- ・郵便やファクシミリでのご意見、ご提言もお待ちしています。

〈記載にあたってのお願い〉

- ・内容の趣旨がわからない、事実の確認ができないなどの理由で回答できない場合がありますので、ご意見は趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いします。
- ・他人を誹謗中傷するもの、営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。
- ・内容が町以外の機関(国、県など)に関するものの場合、町から該当する機関に内容を伝えますのでご了承ください。

●問い合わせ・ご意見の送付先

総務課 秘書広報係 〒969-3123 猪苗代町字城南 100
☎ (62) 2111 FAX (62) 5175

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成25年9月30日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成25年	平成24年	増減	増減率%
猪苗代町		44	57	-13	-22.8
磐梯町		16	15	1	6.7
裏磐梯		9	9	0	0.0
計		69	81	-12	-14.8

町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯		
罪種別		25年	24年	25年	24年	25年	24年	
窃盗犯計		33	39	15	8	8	7	
空き巣	金庫破り				1			
	事務所荒らし	1	1					
	出店荒らし	1	2	1				
	倉庫荒らし	1	1					
	侵入盗その他	2	3					
	置き引き	2	4					
	車上ねらい	3	4	1	1	1	2	
	部品ねらい						1	
	脱衣場ねらい					1	1	
	自販機ねらい							
	万引き	6	4					
	職場ねらい				1	1		
	さい銭盗		4					
	畑荒らし							
	スキー							
	スノーボード盗	6	2	10	2	3	2	
	非侵入盗その他	8	5	3	3	1	1	
	自動車盗		1					
	オートバイ盗							
	自転車盗	2	8					
	その他の 乗り物盗							
	暴行・傷害					2		1
	詐欺・横領		2	3	1			1
遺失物等横領		1	1		2			
器物損壊		4	11		2	1		
その他の刑法犯		1	3		1			
総 計		44	57	16	15	9	9	
増 減			-13		1		0	

◎家族や警察官などを装いお金をだまし取る「なりすまし詐欺」が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族、知人か警察(110番)に相談してください。

2 交通事故状況

死亡事故	0	2	0	0	0	0
増減	-2		0		0	
人身事故	55	76	13	11	4	4
増減	-21		2		0	

◎車を運転する際は、速度を控え、安全運転を心掛けましょう。歩行者・自転車の方は、夜間は反射材を着用し、周囲の車の動きに注意しましょう。

税金

自動車の登録や移転の手続きはお済みですか

自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている名義上の所有者(分割払いで購入の場合は使用者)に課税されます。

例年、「持っていない車の納税通知書が来た」「納税通知書が来ない」などのトラブルが発生しています。

納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は、3月31日までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

- ①住所が変わった
- ②自動車を人に譲った
- ③廃車した など

県会津地方振興局県税部

課税第二課 ☎(26) 3333

不動産取得税の減額や減免には申請が必要です

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。

住宅用の土地を取得してから3年以内に住宅を新築(中古住宅の場合は、1年以内に取得)した場合や住宅を取得してから1年以内にその住宅用の土地を取得した場合に、取得した住宅用の土地にかかる不動産取得税を減額する制度があります。ただし、住宅(住宅用附属家を含む)の総床面積が50㎡以上240㎡以下

であることが要件となります。

その他、災害にあったときや公共事業で収用されたときなどの減免制度もあります。

これらの制度は、本人の申請により減額・減免するものです。該当すると思われる方は、詳しい要件および必要書類について、下記に問い合わせてください。

県会津地方振興局県税部

不動産取得税チーム

☎(29) 5254

消防

大切な命を救えるのはあなたの応急手当です

あなたの大切な人が突然倒れました。大切な命を救うために「あなた」の力が必要です。

猪苗代消防署では、毎月第2土曜日の午前9時から「町民救急講座」を開催しています。「救う力」を身につけませんか。



写真は、町職員が受講した、普通救命講習の様子。心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用法などを学びました

県猪苗代消防署 ☎(62) 4433

募集

優秀な自衛官を育てる高等工科学校生徒募集

防衛省では、高等学校の普通科と同等の教育と、自衛官として必要な教育や訓練を受けることができる、高等工科学校生徒を募集します。

●受験資格

中卒(見込み含む)17歳未満の男子

●募集人員 約260人

●受付期間 11月1日(金)～26年1月10日(金)

●一次試験 1月18日(土)

●試験会場 受付時または受験票交付時にお知らせします

県自衛隊福島地方協力本部

会津若松出張所 ☎(27) 6724

日本の平和と安全を守る自衛官の候補生を募集

防衛省では、下記のとおり自衛官候補生(男子)を募集します。

●受験資格

18歳以上27歳未満の男子

●受付期間 11月8日(金)～26年1月17日(金)

●試験科目 筆記試験(国語、数学、社会および作文)、適性検査、口述試験、身体検査

●試験期日・会場(下記のいずれか)

・26年1月25日(土)

陸上自衛隊郡山駐屯地

・26年1月26日(日)

陸上自衛隊福島駐屯地

●採用時期 26年3月下旬、4月上旬または別に示す時期

県自衛隊福島地方協力本部

募集課 ☎024(546)1919

誰もが好きな時に学べる放送大学の学生を募集

創立30周年を迎えた放送大学では、26年4月入学生を募集します。

放送大学は、テレビなどの放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

詳しい資料を無料で送付しますので、お気軽にお問い合わせください。

●募集学生の種類

〈教養学部〉

科目履修生(6カ月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

〈大学院〉

修士科目生(6カ月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

●出願期間

12月1日～26年2月28日(インターネット出願は11月15日から受け付け開始)

●資料請求(無料)・問い合わせ先

放送大学福島学習センター

〒963-8025 郡山市桑野1-22-21

(郡山女子大学もみじ館内)

☎024(921)7471

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

12月の献血日程

12月10日(火)

午前9時30分から正午まで

●猪苗代警察署

午後1時30分から

午後5時00分まで

●リオンドール猪苗代店

12月25日(水)

午前9時00分から

午後5時00分まで

●猪苗代町役場



プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
 消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

25年10月1日現在の現住人口

人 口	15,219 人		
世帯数	5,066 戸		
出生	6 人	転入	30 人
死亡	22 人	転出	36 人

国民健康保険税	5期分
介護保険料	5期分
後期高齢者医療保険料	4期分
上下水道使用料	11月分

今月の納期

(納期限12月2日)

「福島の桃、おいしくて前はよく食べたけど、今は食べない」。今年の7月、フェイスブックに投稿されたこの書き込みを、1日で9千人がシェアしたそうです。▼農業体験ツアーの案内役を務めた農青連の渡部雅幸さんが、実施のきっかけとなった出来事を教えてくださいました。▼渡部さんの熱心な案内のかいあって、猪苗代の農産物は間違いない安全だということと、ツアーの参加者全員が理解しました。わずかに5人とはいえ、桃の書き込みの件を考えると、可能性は無限大です。▼猪苗代を後にする参加者の満足そうな笑顔、見送る農青連の皆さんの充実感に満ちた表情を見て、このツアーが催されて本当に良かったと思います。▼参加者数を聞いて、取材に行くのをためらった自分が恥ずかしくなりました。この取り組みが実を結び、風評被害が完全になくなる日が来ることを祈ります。(矢森)

みんなの美術館

11月は猪苗代小学校のお友達の作品です

Our Museum



「クジャクと遊んだよ」

遠足で行った牧場のクジャクを描きました。右にいるのが自分で、左にいるのは仲良しの美羽ちゃんです。広げた羽を、緑だけでなく青い色もつけたところがお気に入りです。体の色もきれいに塗りました。



白井 水琴さん(1年)



渡部 莉未さん(6年)

書道「道」

「自」の部分の横画が同じ間隔になるように気を付けて書きました。全体をバランスよくまとめることができましたと思います。書道は3年生の頃から習っています。これからも続けて、もっと上手になれるように頑張りたいです。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.197

豆腐ステーキの山芋かけ (骨粗しょう症予防メニュー)



【材料】4人分

木綿豆腐 400g・山芋 中 1/2 本・酢 大さじ1と小さじ1・オリーブオイル 小さじ2・みりん 大さじ1と小さじ1・刻みのり 適量・練りわさび 適量・三つ葉 適量

【作り方】

- ① 山芋はすりおろし、酢と混ぜ合わせておく。
- ② 木綿豆腐を1cmほどの厚さに切り、キッチンペーパーなどで水切りする。
- ③ オリーブオイルを熱したフライパンにみりんを加え、②を焼き色がつくまで焼く。
- ④ 皿に盛った③の上に①をかけ、刻みのりを乗せて、適当な長さに切った三つ葉とわさびを添えたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】

エネルギー 173kcal、塩分 0.1g

■一口メモ■

豆腐にはカルシウムと良質の植物性たんぱく質が多く含まれています。カルシウムは酢と一緒に食べると吸収率が上がり、骨粗しょう症予防につながります。